

# 学校運営協議会だより

令和6年2月26日発行

## 3学期学校経営・教育活動について評価

2月7日(水)14時10分から第4回の学校運営協議会を開催しました。

校長あいさつの後に20分程度、校内参観を行いました。5時間目の時間帯でしたが、委員の皆様には、生徒の普段通りの姿をご参観いただけたと思います。続く協議では、3年生の高校入試についての状況説明を行ったほか、主に「探究学習」と、タブレット端末を活用した教育活動について意見交換がなされました。会の最後には3学期の学校運営・教育活動について委員による評価(アンケート)を行いました。

今年度の学校運営協議会は終了しました。来年度は5月16日(木)に第1回目の学校運営協議会を実施する予定です。

### 校内参観を実施しました

会の前半にて校内参観を行いました。5時間目の時間帯の、普段通りの生徒の姿が見られました。中学3年生の体育の授業では、生徒が生き生きと球技の授業に取り組んでいました。また、中学1年生の英語の授業では、生徒が活発に対話を行っている姿が見られ、「生徒は落ち着いて明るく活動していて良い。」「仲間を大切にしようとする雰囲気を感じられて良い。」などの感想が寄せられました。

### 【質疑応答・意見交換の概要】

**Q** 学校だよりが充実していてよい。保護者アンケートへの回答もなされている。

**A** 必ず保護者アンケートへの回答を掲載し、保護者とともにより良い教育活動をつくる姿勢を示すとともに理解を求めている。

**Q** 保護者アンケートに「子どもが授業が分からないと言っている」とあるが、学校ではどのような対応をしているのか。

**A** 学年が上がるにつれ、学習内容が難しくなり、学習困難を訴える生徒は出てくるものとする。学校としては、授業中における個別の学習課題の設定や昼休み放課後における補習・再テストなども行っている。全学年において職員室に質問に来る生徒は見られる。

**Q** 他に対応はないのか。

**A** 生徒一人一台のタブレット端末をより活用することが有効である。また、当然ながら教師の指導力向上に向けた研鑽は今後も

継続していく。特にICTを効果的に用いた授業の展開については、まだまだ伸びしろがあると思う。

**Q** 部活動の地域移行についての進捗状況はどうか。

**A** 今年度のモデル事業は1月をもって終了し、いま、評価をする時期に入った。今年度は土日において地域移行を行った。地域の指導者に完全に任せた部活(3部)、顧問も「地域指導者」となって活動に参加した部活(4部)、地域指導者が見つからなかった部活(2部)と実態は様々であった。次年度もモデル事業を継続する。令和8年度には平日も完全移行する見込みである。

**Q** 鹿児島学習定着度調査では、昨年度に比べて通過率が下がっているが、これは職員の長期病休による人手不足の影響ではないのか。校長として、人員の増加を求めべきではないのか。

**A** 人員は規定に基づき配置されている。人手不足の状況は常から教育委員会に報告をし、状況改善に向けて強く要望してきた。今年度実施された複数名の運営支障代替職員の配置はそれによるものである。ただし、少人数指導が行えなくなった教科があるなど、きめ細やかな指導が行き届きにくくなっている状況があるのは確かである。

**Q** 「探究学習」は来年度はどうなるのか。生徒の非認知能力の育成に有効であったと思う。

**A** 来年度はPTAからの助成を受けながら、2年生において「探究学習」を行う予定である。互いの存在や考えを認め合いながら議論を進め、応えの無いものを導いていく作業は、正に非認知能力の向上に役立つものと考えている。